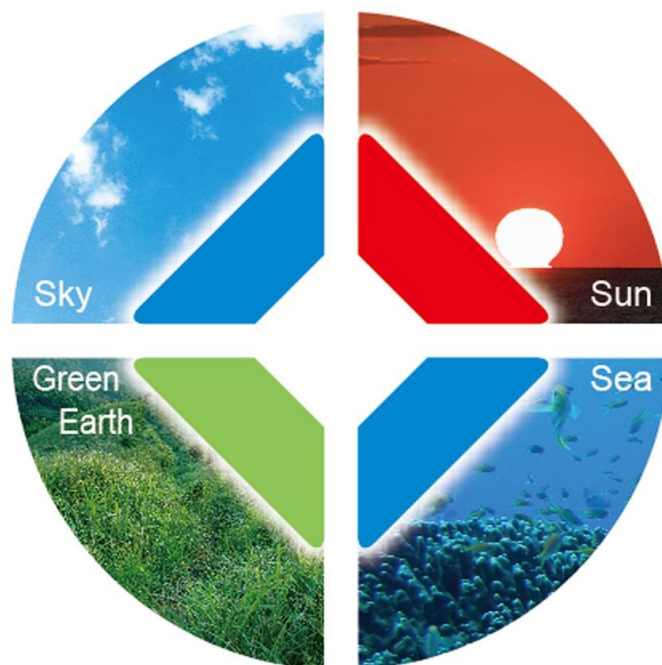


エコアクション21

環境経営レポート

対象期間: 2023年4月～2024年3月



Nippon Housou System の願い

Nature 自然にやさしく……

Human 人が豊かに……

Smiles そして笑顔に!



発行日 2024年 6月 28日
作成者 飯塚 宣人

目次

表紙	P1
目次	P2
Ⅰ. 会社概要・事業内容	P3
Ⅱ. 環境経営方針	P4
Ⅲ. 環境経営活動実施体制	P5
Ⅳ. 環境経営目標	P6
Ⅴ. 実績	P7 ~
Ⅵ. 次年度の活動計画	P12 ~
Ⅶ. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P14
Ⅷ. 代表者による全体評価と見直しの結果	P15

I. 会社概要・事業内容

(1) 事業者名及び代表者名

日本包装システム 株式会社

代表取締役社長 池畠 正英

(2) 所在地

本社工場 〒379-2153 群馬県 前橋市 上大島町 182

共同工場 〒379-2154 群馬県 前橋市 天川大島町 1310-4

(3) 環境管理責任者及び事務局

EA-21責任者： 管理部 飯塚 宣人

EA-21事務局： 管理部 小宮 由香利

連絡先 TEL： 027-261-4455

FAX： 027-261-4456

E-mail： n.iiduka@nhs-1972.co.jp

(4) 事業活動の内容

紙製容器・包装資材の開発、製造および販売

(5) 事業規模 (2023年度)

主要製品の生産量： 1,097 t

売上高： 674百万円

資本金： 6,000万円

従業員数： 44人

延べ床面積： 3,715.03㎡

(6) 対象範囲 (認証・登録範囲)

上記 (2) に該当する所在地と (4) に該当する活動内容

II. 環境経営方針

環境経営方針

日本包装システム株式会社は、私たちの未来のため、
循環型社会の実現と環境負荷の低減を推進します。

1. 当社は事業活動を通じて、環境マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め全員参加で継続的な改善に努めます。
2. 環境関連の法令、規制を遵守するとともに、行政・団体・地域との協力体制を確立します。
3. 当社は環境に与える影響を考慮し、次の事項に対して優先的に取組みます。
 - ① エネルギー使用量・水資源使用量の削減
 - ② 廃棄物の削減とリサイクルを目的とした分別回収
4. 当社は文化的生活の向上と環境負荷低減の両立を目指し、安全で効率のよい生産活動を追求します。
5. 社会の一員として環境保全に関する啓蒙・啓発に努めます。

この環境方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

2009年4月1日
改定日 2016年4月1日
改定日 2018年4月1日

日本包装システム株式会社

代表取締役社長

池島正英

Ⅲ. 環境経営活動実施体制

代表者(社長)	1. 環境経営方針の策定 2. 経営資源の準備
池畠 正英	3. 代表者による全体の評価と見直し 4. 環境経営レポートの承認 5. 環境目標及び環境経営活動計画の承認 6. 経営における課題とチャンスの明確化

	人員
役員	2名
管理職	6名
一般	25名
パート・人派	9名
合計	42名

2023年4月現在

EA-21責任者	1. EA-21システムの確立、実施推進、維持管理 2. 環境への負荷及び取組への自己チェックの実施
飯塚 宣人	3. 環境経営目標及び環境活動計画の策定 4. 環境経営レポートの作成 5. EA-21に関する実績把握と報告 6. EA-21環境経営マニュアルの作成

製造部	相川 利明	1. 環境経営活動計画の実施 2. 問題点の是正処置
営業部	小貴 敦	1. 環境経営活動計画の実施 2. 問題点の是正処置
品質管理部	森 克美	1. 環境経営活動計画の実施 2. 問題点の是正処置
管理部	高橋 正利	1. 環境経営活動計画の実施 2. 問題点の是正処置

EA-21委員会	1. 環境経営目標及び環境経営活動の結果確認 2. EA-21に関する審議
委員長：池畠 正英 飯塚 宣人・小宮 由香利・竹内 恵子 松本 宏志・蒔苗 徹・鈴木 寿晴・岡田 美幸	

EA-21事務局	1. EA-21責任者の補佐業務 2. 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認 3. 教育、訓練計画の策定・実施（緊急時対応訓練 等） 4. 環境文書及び記録の作成、管理 5. その他EA-21に関する業務
小宮 由香利	

IV. 環境経営目標

当社の環境目標の設定は、2020年度のデータを基準として2021～2023年度の目標といたしました。

「燃料使用量の削減」については本社工場・共同工場扱いにてそれぞれ車輛を区別、工場別に実績管理をしていましたが、2021年度より本社工場一括の管理となり、工場別の数値を合計して算出、表示しています。

「化学物質使用量の削減」については年間使用量が少ない為、定期的に管理状況・保管状況の確認を「薬品保管管理表」にて行っていきます。

「グリーン購入の推進」については、「自らが生産・販売・提供する製品、及びサービスに関する環境目標」内に統合して継続して活動してまいります。

取組項目	2020年度実績		2021年度	2022年度	2023年度
電気使用量の削減	本社	CO2換算 3.27kg/万円	1%削減	1%削減	1%削減
	共同	CO2換算 2.29kg/万円			
燃料使用量の削減 営業車使用燃料 (ガソリン・軽油)		CO2換算 0.297kg/万円	2%削減	2%削減	2%削減
廃棄物の削減 ① (古紙回収)の削減	本社	一万円あたりの使用量 4.38kg/万円	実績維持	実績維持	実績維持
	共同	一万円あたりの使用量 6.94kg/万円			
廃棄物の削減 ② (廃プラ)の削減	本社	一万円あたりの使用量 0.065kg/万円	実績維持	実績維持	実績維持
	共同	一万円あたりの使用量 0.049kg/万円			
廃棄物の削減 ③ (鉄・ガラス・その他)の削減	本社	一万円あたりの使用量 0.028kg/万円	実績維持	実績維持	実績維持
	共同	一万円あたりの使用量 0.006kg/万円			
水資源使用量の削減	本社	一万円あたりの使用量 0.012m ³ /万円	実績維持	実績維持	実績維持
	共同	一万円あたりの使用量 0.010m ³ /万円			
自らが生産・販売・提供する製品、及びサービスに関する環境目標	次年度の活動計画にて掲げた施策の実行と継続				
化学物質使用量の削減	_____		_____	_____	_____

V. 実績

環境目標に対する達成状況は以下の通りです。

- ※1. 実績値は、2023年度運用期間(4月～3月)の1年間と、基準年度2020年度の同月の値と比較する。
- ※3. 総量は4月から3月の1年間の合計とする。
- ※4. 単位は、売上金額1万円当たりの使用量とする。
- ※5. 購入電力(東京電力)の二酸化炭素排出係数は0.451。
- ※6. ガソリンの二酸化炭素排出係数は2.32。
- ※7. 軽油の二酸化炭素排出係数は2.58。

実績 一覧

本社工場	2020年度基準値	2023年度実績値	達成率	結果
電気使用量の削減	3.27kg/万円	2.29kg/万円	142.70%	○
燃料使用量の削減	0.297kg/万円	0.186kg/万円	159.67%	○
廃棄物(古紙回収)の削減	4.38kg/万円	3.56kg/万円	123.03%	○
廃棄物(廃プラ)の削減	0.065kg/万円	0.050g/万円	130.00%	○
廃棄物(鉄・ガラス等)の削減	0.028kg/万円	0.003kg/万円	933.30%	○
水資源使用量の削減	0.014m ³ /万円	0.011m ³ /万円	127.27%	○

○ 達成 × 未達成

共同工場	2020年度基準値	2023年度実績値	達成率	結果
電気使用量の削減	2.29kg/万円	1.27kg/万円	180.31%	○
廃棄物(古紙回収)の削減	6.94kg/万円	4.69kg/万円	147.97%	○
廃棄物(廃プラ)の削減	0.049kg/万円	0.026kg/万円	188.46%	○
廃棄物(鉄・ガラス等)の削減	0.006kg/万円	0.005kg/万円	120.00%	○
水資源使用量の削減	0.010m ³ /万円	0.006m ³ /万円	166.66%	○

主な環境負荷実績(総量)

環境への負荷	2020年度(基準年)	2023年度(対象年度)
Co2排出量(Kg-Co2)	147,877	124,667
廃棄物排出量(t)	240	239
水使用量(m3)	567	532

電気使用量の削減

計画(本社工場・共同工場 統一計画)	結果	次年度	評価
取り組み施策の発表(8月)	◎	継続	基準年度の数値は、新型コロナウイルス蔓延の影響で低くなっていましたが、今年度はその数値以下を達成する事が出来ました。これはコロナ明けの生産内容の変化以外に、社員全員による節電の取り組みによる成果だと考えます。
未使用の電気、電源のOFF	○	継続	
エアコン温度の設定	○	継続	
トイレ便座の温度設定	○	継続	
空調フィルターの定期清掃	◎	継続	
デマンド監視装置の活用	△	継続	

◎良くできた ○出来た △あまり出来なかった ×出来なかった

燃料使用量の削減

計画(本社工場・共同工場 統一計画)	結果	次年度	評価
取り組み施策の発表(2月)	◎	継続	基準年度よりも使用量は大幅に減少となりました。トラックによる遠方への納品が無くなり、近隣への少量納品にはトラックではない車輛を使用したりと、運用方法を変更した事も達成の原因の一つと考えます。
燃料使用量・走行距離チェック	◎	継続	

廃棄物(古紙回収)の削減

計画(本社工場・共同工場 統一計画)	結果	次年度	評価
取り組み施策の発表(5月)	◎	継続	基準年度比で本社は廃棄量が増加、共同工場は減少となりました。本社工場の廃棄量が前年と前々年よりは減少していますが、売上金額は逆に増加となっており、生産内容が年々変化してきている事に注目していく必要があります。
分別廃棄の継続	○	継続	
私物ゴミ持ち帰りの徹底	◎	継続	
調整時ロスの削減	◎	継続	
ロスの早期発見と対応	○	継続	

廃棄物(廃プラ)の削減

計画 (本社工場・共同工場 統一計画)	結果	次年度	評価
取り組み施策の発表(10月)	◎	継続	廃棄マニフェストは電子化実施。 ストレッチフィルムの廃棄量は本 社工場は年々増加傾向で、共同工 場は逆に減少傾向となっています 。製品出荷時にパレット単位での 出荷という取組みも、廃棄量減少 の大きな要因と考えます。
資源ゴミと一般ゴミの分別の徹底	◎	継続	
ブランクス納入時のプラパレ化依頼	◎	継続	

◎良くてきた ○出来た △あまり出来なかった ×出来なかった

廃棄物(鉄・ガラス等)の削減

計画 (本社工場・共同工場 統一計画)	結果	次年度	評価
取り組み施策の発表(10月)	◎	継続	木製パレット・木くずの処理は問 題なく対応出来ています。 蛍光灯の廃棄管理に関しても適切 に管理出来ています。 また、蛍光灯は順次LEDに置き変 えられていく予定なので、廃棄量 は更に減少が見込まれます。
木製パレット・木くずの適正処理	◎	継続	
廃棄蛍光灯の管理徹底	◎	継続	

水資源使用量の削減

計画 (本社工場・共同工場 統一計画)	結果	次年度	評価
取り組み施策の発表(12月)	◎	継続	両工場共に基準年度よりも使用量 減少となりました。 水使用時ルール(手洗いや清掃ほ か)は、社員への啓蒙活動の浸透 もあり適切に使用しています。 逆に必要な時は必要な分を使用す るメリハリも重要かと考えます。
節水継続意識向上の継続	◎	継続	
手洗い・糊つぼ洗い時に水を止める。	○	継続	
本社 成型工場、共同 2階洗い場の蛇 口レバーを長い形状のものへ変更(検 討)	△	継続	

環境保全取組実施率の向上

① 管理者・従業員の教育

- ・毎月初日に全社員が集まる全体ミーティングを実施しています。
- ・全体ミーティング内ではエコアクション活動の発表の他に、安全・衛生委員会より労働災害発生状況の発表や、ヒヤリハット発表による危険予測の対応。
また、業務中における事故発生の予防を目的とした取り組み(工場内の見廻りと危険個所の発見、その対応)を発表しました。(7月、1月)

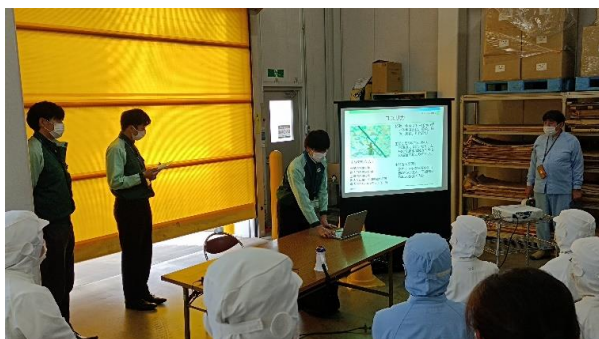


＜全体ミーティングの一例＞



＜安全・衛生委員会の発表の様子＞

- ・アース環境サービス社様による「現場における異物混入対策」の講習を実施。(6月)
- ・群馬ヤクルト販売様による「健康な体作りと睡眠」の講習を実施。(10月)



＜アース環境サービス社様による講習の様子＞



＜群馬ヤクルト販売社様による講習様子＞

- ・今年度の9月1日は新型コロナウイルス感染予防の為に実施出来なかった避難訓練を4年振りに実施しました。実際に火災が発生したと想定し、避難経路を通り避難場所へスムーズに集合する訓練は非常に重要かつ有用であると改めて認識出来ました。また、訓練後は避難する時や避難した後の注意点を説明しました。
 - ・上記、群馬ヤクルト販売様による講習内容は、社員の健康や日頃の生活習慣を見直す為の良い機会となりました。今後も年に一度、全体ミーティング内にて各種講習会を開催していく予定です。
 - ・今年度から、新入社員にエコアクション21の環境教育を定期的に行う事になりました。エコアクション21とは？から始まり、活動理念や弊社における活動内容などを時間を設けて説明(教育)を行う事で、環境への意識や取組みに対する意味・目的などを知ってもらう必要があります。また、FSC森林認証やSDGsについても説明を行いました。いずれも環境に関する取組みや事柄になりますので、併せて効果的に教育を行います。
- ② その他、入口に「アイドリングストップ」の表示をして、当社出入りの業者さんに対して環境保全活動の協力依頼をしています。

その他の環境への取り組み事例



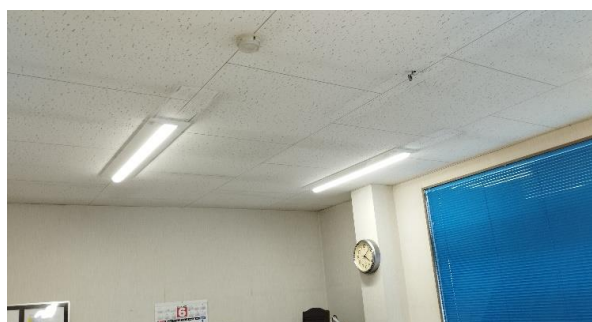
① 本社工場 製函機械を1台新規導入



② 本社工場 製函機械1台をオーバーホール



③ 本社工場 エアコン1台を新規交換



④ 共同工場 2階事務所の照明をLED化

★2023年度に行った環境への効果が見込める取り組み★

- ① 本社工場 製函機械を1台新規導入 (省電力化)
- ② 本社工場 製函機械1台をオーバーホール (省電力化)
- ③ 本社工場 成型部門のエアコン1台を新規交換 (省電力化)
- ④ 共同工場 2階事務所の照明をLED化 (省電力化)

FSC® COC森林認証の取得

昨年度に「FSC COC森林認証」の更新審査を終了致しました。社会が地球環境保護への取組みを拡充していく流れを受け、企業も積極的に環境に配慮した製品を導入する機運が高まっています。新規製品の生産依頼や、既存の製品を認証材料を使用した製品に変更するといったように、さまざまご相談をいただき生産活動にて環境保護に微力ながら協力しています。

＜弊社FSC認証情報＞

- 認証登録番号 : SA-COC-006218
 ライセンス番号 : FSC® C140095
 認証発行日 : 2023年3月9日 (2018年3月9日に認証取得)
 有効期限 : 2028年3月8日
 詳細情報 : <https://search.fsc.org/ja/certificate/a02f300000glY5fAAG/>



化学物質使用量の削減

定期的(7月・11月・3月)に保管場所と管理方法の確認を行いました。

VI. 次年度の活動計画

当社は、環境への負荷を低減するために、以下の活動を実施していきます。

(1) 電気使用量の削減

- ・未使用の電気、パソコンモニタの電源OFF
- ・エアコンの適正な温度設定
- ・トイレ便座の温度設定(夏季：OFF、冬：ON)
- ・エアータオル就業時間外の電源OFF
- ・空調フィルターの定期清掃
- ・デマンド監視装置活用によるピークカット
(季節ごとに1時間毎に数値を測定)
- ・電気管理業者のサポートによる使用電力削減
- ・電気使用量の削減の取り組み発表(8月)

(2) 燃料使用量の削減

- ・燃料使用量・走行距離チェック(3カ月毎)
- ・燃料使用量削減の取り組み発表(2月)

(3) 廃棄物の削減(古紙回収)

- ・分別廃棄の継続(本社工場・共同工場)
- ・私物ゴミ持ち帰りの徹底
- ・不良率の削減
調整時ロスの削減
ロスの早期発見と対応
- ・不良率低減の取り組みを発表(5月)

(4) 廃棄物の削減(廃プラ・鉄・ガラス他)

- ◎廃プラ／鉄／ガラス他 共通事項
 - ・資源ゴミと一般ゴミの分別の徹底
(リサイクル率向上の為)
 - ・私物ゴミ持ち帰りの徹底
 - ・廃棄物の削減の取り組みの発表(10月)
- ◎ガラス他
 - ・使用済み蛍光灯の廃棄・管理の徹底
 - ・ブランク納品時、プラパレでの納入を依頼

(5) 水資源使用量の削減

- ◎本社工場
 - ・節水意識向上の継続
 - ・手洗い・糊つぼ洗い時に水を止める
 - ・成型工場の蛇口レバーを長い形状のものへ変更検討
- ◎共同工場
 - ・節水意識向上の継続
 - ・水資源使用量削減の取り組み発表(12月)

(6) 環境保全取組実施率の向上

- ・毎月1日に全体ミーティングにてEA21の取り組み発表や環境教育等を実施
- ・部門別責任者と担当者の発表、年間スケジュールの発表 (4月)
- ・アース環境サービス社様による「防虫・衛生・品質関連」の講習を予定 (6月)
- ・避難訓練「火災防火訓練」 (9月)
- ・セミナー(内容未定)の実施 (10月)
- ・施策の成果と反省 (3月)

(7) 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境目標

- ・新製品の設計を行う際に効率的で無駄の少ない割り付けを心掛け、原紙のロスを軽減します。
- ・新製品を生産する際に、環境に配慮した材質、リサイクルが可能な材質の使用を心掛けます。
- ・グリーン購入の推進。

(8) 化学物質使用量の削減

- ・保管と管理の確認(7月・11月・3月)を定期的に行います。

Ⅶ. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は下表の通りです。
 また、関連法規制の遵守状況確認を毎年2回実施しており、違反はありませんでした。
 地域住民からのクレームもありませんでした。
 同様に関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

主な適用法規	当社の対応	遵守状況
廃棄物処理法 循環型社会形成推進基本法 群馬県環境基本条例 群馬県の生活環境を保全する条例 前橋環境基本条例	廃棄物の削減 廃棄物の適正処置の確保 産業廃棄物保管基準遵守 廃棄物の飛散・流出・地下浸水の防止 産業廃棄物処理委託基準の遵守 産業廃棄物の委託契約書の記載事項の遵守 産業廃棄物管理票の管理義務	遵守確認済
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	廃棄時の引き取り業者への 引渡し料金の支払い	本年度廃棄無し
消防法(危険物関連) 前橋市火災予防条例	少量危険物貯蔵所設置の届出 基準在庫管理	基準在庫以下確認
容器包装リサイクル法	毎年度、その生産量に応じて 再商品化義務量の再商品化	遵守確認済
下水道法	排水基準の厳守	排水基準量以下 確認
CSR(社会的責任)調達 (取引先企業3社)	エコアクション21に適応	遵守確認済
騒音規制法	特定施設設置届出書の提出	遵守確認済
振動規制法	特定施設設置届出書の提出	遵守確認済
フロン排出抑制法	該当設備を管理者により定期点検 廃棄時の回収業者への引渡し	実施済 本年度廃棄無し

Ⅷ. 代表者による全体評価と見直しの結果

新型コロナウイルスが蔓延してから5年が経過し新しいスタンダードにより社会が動いていると感じます。また原材料、エネルギーなどの価格高騰が進み経済活動に色々な形で影響が出ています、そのような状況下で消費電力削減などが行われていますが、各地で発生している戦争による人命被害や多大なる環境破壊には憤りを感じざるを得ません。

当社は基準年と比較すると 売上・生産量 共に増加している中で電気・燃料・水の実績使用量の増加は少なく、全ての削減目標を達成出来ました。素晴らしい結果だったと思います。長年継続している環境活動に加え、生産機械やエアコン・照明機器などの入れ替えによる電力量の削減効果もあったと思いますが、仕事内容の変化に対して都度的確な対応を行い生産実績を上げたことや、全体の労働時間削減が出来たことが良い結果につながったのではないかと思います。

取組むべき方向性

設備投資の長期計画は予定通り進められており、新規の生産機と完全オーバーホールを行った機械が導入されました。これらを中心に生産効率の向上と技術革新が求められています。新たな設備により生産プロセスの合理化や新しい技術への挑戦がスタートしましたが、更なるレベルアップを組織的に行うことが大切であると感じています。また今期も既存の生産機械のオーバーホールが予定されておりコンディションの最適化は引き続き追求していきます。生産技術に裏付けされた「効率化」を目指しております。

また、ソフト面でのイノベーションも必要です。昨年度スタートした人材育成の為の基準・仕組づくりを進化させ、全社的に運用することが目標です。昨年度実施された管理職研修の体験も生かし組織づくりを行っていきます。基本的な報・連・相や安全確認を実行することは業務の効率化、そして環境負荷低減へとつながるのではないかと考えています。

代表取締役社長
池畠 正英